

新潟



新潟支局
〒950-0965
新潟市中央区新光町
5-1千歳ビル
☎ 025-285-2121
FAX 025-282-2152
niigata@sankai.co.jp

購読申し込み
0120-70-3034

配達・集金
0120-34-4646

紙面・記事
0570-046460

Web
http://www.sankai.com/
region/region.html

地域おこし協力隊がカフェ

4年前に閉校した小学校の校舎に地域の人が集い、憩える喫茶スペースが生まれた。三条市下田地域で活動する地域おこし協力隊のメンバーが同市荒沢の旧荒沢小の図書室などを改装し、2月末にオープンさせた「〇彦カフェ」。テーブルは黒板としても使えるなど工夫が凝らされた温かみのある空間で、コピー片手に読書などを楽しめる。内装などを手がけた吉川礼乃さん(25)は「デスクワークや会議、遊び、休憩などで気軽に利用してほしい」と呼び掛けている。

東京都出身の吉川さんは文化学園大(同渋谷区)の建築・インテリア学科を卒業後、「一般企業以外で、行政と市民を結ぶ仕事がしたい」と応募。昨年4月に市から協力隊員に任命され、4歳の長男とともに移住。陶芸教室を開き、地元の小学生を指導してきた。

「地元の人が休憩できるスペースがなく、地域のつながりが少ない」と感じた吉川さんは、協力隊が活動拠点としている旧荒沢小をカフェにした。



地域おこし協力隊

都市圏から過疎地などへの移住、定着を促すため総務省が平成21年度に創設した制度。三条市では、勤務後の市内への移住を前提に最長3年間、市の嘱託員として地域の活性化に取り組む。国が経費を支援し、隊員には年間計230万円程度の報酬と賞与が支給される。

三条の旧荒沢小を改装



「〇彦カフェ」を考案した地域おこし協力隊の吉川礼乃さん。テーブルは黒板としても使える＝5日、三条市荒沢の旧荒沢小

よつと提案。昨年10月、メンバー約15人とともに机やパソコンなどが乱雑に散らばる図書室とパソコン室の改装に着手し、オープンにこぎ着けた。

(松崎翼、写真も)

店名の余白の「〇」には人と人をつ結び、地域の人たちにカフェを育ててほしいという思いを込めた。「彦」は日本神話の海彦山彦伝説や近隣にある弥彦山にちなんだ。約80平方メートルの喫茶スペースには別の廃校から提供されたり、地元の住民らから譲り受けた児童書や雑誌、学術書など1千冊以上がずらりと並び、子供が遊べるボールプールやおもちゃも用意されている。

「会議や遊び、気軽に利用して」

現在の利用者は60〜70代が多く「本を読みながらゆっくりできる場所ができてよかった」と好評という。「地元だけでなく、より多くの人が居心地のいい場所として立ち寄ってくれたらうれしい」と吉川さん。今後は映画鑑賞会などのイベントも計画したいとアイデアを練っている。

メニューは「募金コピー」だけで、料金は利用客にお任せ。営業は平日の午前9時〜午後5時。問い合わせはNPO法人ソーシャルファームさん 0256・64・8116。



子供が遊べるボールプールなどもある

県警採用で身長基準など撤廃
県警は、平成30年度の警察官採用試験で、これまでと体重の基準を初めて撤廃

する。担当者によると「絶対に必要という根拠が乏しくなった」ためという。

採用試験の身体基準は警視庁や各道府県警が独自に規定。これまで県警は、おむねで男性が身長160センチ・体重47キログラム、女性は身長153センチ・体重43キログラムを最低ラインにしていた。

6日には、5月に行う1回目の試験の受け付けを開始。締め切りは4月10日で、80人程度の採用を予定している。誕生日が昭和63年4月2日以降の人などが対象。問い合わせは県警本部警務課採用係 025・280・0334。

お悔やみ

- 【新潟市】(5日まで)
- 弦巻 昭蔵 826188
 - 和泉 照子 826188
 - 丸山 忠弘 878082
 - 砂山 瑞夫 71
 - 近藤 中央 71
 - 村山 茂 9789
 - 沼西 1
 - 新石山 4
 - 幸栄 3
 - 物見山 4
 - 浜谷町 1
 - 上木戸
 - 亀田新明町 4
 - 姥ヶ山 4
 - 沼西 1

駐セルビア日本士五輪の水球合

駐セルビア日本大使の丸山純一氏が6日、2020年東京五輪・パラリンピックでセルビアが水球チームの事前合宿候補地として

